

令和5年度 専門多職種連携セミナー 開催要項

- 1 目的 地域住民が抱える複合的な課題を解決するためには専門多職種が連携することが重要である。県内での多職種連携の実践事例から自分自身の日頃の支援を振り返り、一人ひとりの専門職が包括的・重層的支援体制において果たすべき役割を学ぶことを目的とする。
- 2 主催 社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ
- 3 日時 令和6年2月13日(火) 13:25~16:40
- 4 講師 国際医療福祉大学大学院教授(富山県福祉カレッジ客員教授) 白澤 政和 氏
- 5 会場 富山県総合福祉会館サンシップとやま 6F 研修室 602~604
- 6 対象者
 - ・福祉、医療、司法等の関係専門職(職能団体への所属の有無、役職経験は不問)
社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員(ホームヘルパー)、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、相談支援専門員、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、保育士、MSW(医療ソーシャルワーカー)、栄養士、手話通訳士、児童福祉司、幼稚園教諭、視能訓練士、義肢装具士、歯科衛生士、福祉用具専門相談員、弁護士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、社会福祉主事、家庭支援専門相談員、認知症ケア専門士、SSW(スクールソーシャルワーカー)など
 - ・民生委員児童委員、保護司 ・社会福祉協議会職員 ・行政職員
- 7 内容
 - 13:00~13:25 受付
 - 13:25~13:30 開会・オリエンテーション
 - 13:30~13:50 基調講義 「地域包括ケアにおける専門多職種連携の意義」(仮)
 - 13:50~14:10 実践報告①
「退院支援から在宅療養生活への切れ目のない支援体制」(仮)
かみいち総合病院 副院長 佐藤 幸浩 氏
 - 14:10~14:30 実践報告②
「多職種連携のための介護支援専門員の役割」(仮)
老人居宅介護支援センターくれは苑 片岡 純子 氏
 - 14:30~14:50 実践報告③
「被後見人の生活支援と多職種連携について」(仮)
成年後見センター・リーガルサポート富山県支部 北村 久美子氏
 - 14:50~15:00 実践報告に対する質疑応答、ポイント解説
 - 15:00~15:10 休憩
 - 15:10~16:20 グループ討議・発表
テーマ「自らの領域を超えた相談や支援にどのように対応すればよいか」
生活困窮者、ひきこもり、8050問題、ヤングケアラーなど潜在化した生活課題への対応について、参加者同士で検討します。
 - 16:20~16:40 総括講義 「包括的支援体制を担う専門多職種連携の必要性とは」(仮)
 - 16:40 閉会
- 8 参加費 4,000円 当日受付で現金でお支払いください。
- 9 定員 50名程度(先着順)

10 申込方法

- ・参加申込書により、令和6年1月29日（月）までにFAXでお申込みください。
- ・先着順に受付し、参加決定通知書をFAX又はメールで送付します。なお申込者多数の場合は、期限前でも受付を終了する場合がありますので予めご了承ください。

11 その他

- ・プログラム内容は若干変更することがあります。
- ・本セミナーでは参加者名簿を配布する予定です。

12 問合せ先

富山県福祉カレッジ教務課 西野（TEL：076-432-6513 FAX：076-432-6516）